



平成 29 年 8 月 28 日
京都鉄道博物館

京都鉄道博物館(初)展示 雪の季節に大活躍！京阪神エリアでは見ることができない現役車両 キヤ 143 形「ラッセル車両」を特別展示



京都鉄道博物館では、JR 西日本の営業線とつながっている引込線を活用し、新たに現役車両を展示します。今回は、積雪が多い北陸・山陰エリアで主に活躍する除雪車両の「キヤ 143 形」を展示します。今回は、特別に除雪車両特有の除雪用ラッセル翼を付けた状態で展示します。この車両は、京阪神エリアでは、普段運用されることがなく、身近で見ることができない車両です。

展示期間 平成 29 年 9 月 7 日(木)～10 日(日) 【4 日間限定】

展示場所 本館 1F 「車両のしくみ/車両工場」エリア

展示車両 キヤ 143 形

※営業線を運転して搬入するため、輸送上の都合により展示を中止する場合があります。

レール探傷車



- 展示期間 平成 29 年 3 月 7 日 (火)
- 特 徴 普段夜間に活躍し、昼間の営業線でほとんどみることができない保守用車両。走行しながら、超音波によりレールの傷を探します。

軌道モーターカー



- 展示期間 平成 29 年 7 月 20 日 (木) ~ 25 日 (火)
- 特 徴 普段夜間に活躍し、昼間の営業線でほとんどみることができない保守用車両。レールやまくらぎなどの交換材料を運搬します。

105 系電車



- 展示期間 平成 29 年 4 月 21 日 (金) ~ 24 (月)
- 特 徴 主に和歌山線や桜井線で活躍している。実際の営業列車として活躍している電車を展示するのは、開業後初展示。

EF210 形式 300 番台直流電気機関車
コキ 107 形式コンテナ車【協力:JR 貨物】



- 展示期間 平成 29 年 8 月 6 日 (日) ~ 19 日 (土)
- 特 徴 EF210 形式 300 番台は EF210 形式 100 番台に後押し用補助機関車として必要な機能を装備した機関車。先頭に立って貨物列車をけん引することも可能です。コキ 107 形式コンテナ車は、走行中の振動を小さくするユニットブレーキを採用しています。
JR 貨物所有の車両の展示は初となります。